

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 131-02-02

事務事業名		道路管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2231	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
			目		2	道路舗装改良事業費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	対策に必要な道路とその利用者					
	目的 (どうしたいか)	生活基盤である道路の安全性の確保を図る。					
	手段 (事業内容)	道路舗装:道路構造物の老朽化や破損に対し、修繕・応急工事を実施する。 道路修繕工事:道路舗装・安全柵・側溝・集水枘等の小規模な破損の修繕。 応急工事 :道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に伴う危険箇所の早急な補修。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	110,674	105,168	127,029
決算額	事業費	122,010	151,548	-
	特定財源等	3,600	5,859	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

<p>【事業費】</p> <p>植栽管理工事費:6,586千円 道路管理委託料:7,358千円 修繕費:34,500千円 道路改良工事費:86,062千円 測量設計委託料:17,042千円 他</p> <p>【特定財源】</p> <p>社会資本整備総合交付金 檜山郡戸2号線:3,359千円 恵我之荘島泉線:2,500千円 計 5,859千円</p>
---

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		140	140	140
実績		137	164	-

≪事業の参考数値等≫

<p>道路改良工事:16件 測量設計委託:3件</p>
---------------------------------

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	箇所	
指標の説明	修繕を施工した箇所数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		140	140	140
実績		137	164	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	<b>現状維持</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市民が道路を安心・安全・快適にできるように、より充実して継続していく。また、予算及び職員数減少により、きめ細やかな市民サービスが低下していく恐れがあるため、道路施設の点検及び管理委託、道路工事予算について重大事故防止に向け拡充する必要がある。	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 131-02-03

事務事業名		橋梁維持補修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2213	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
					目	3	橋梁維持費
事業の概要	対象(誰を・何を)	当課が認定・管理する道路に架かる全ての橋梁					
	目的(どうしたいか)	施設の老朽化や損傷が進んでいるため、長寿命化対策を実施するとともに、適切な維持管理を継続的にを行い、地域の安全・安心を確保する。					
	手段(事業内容)	対処型の維持管理から、「傷みが小さい時から計画的に補修する」予防保全型の維持管理に移行する ・平成26年に道路法施行規則が改正され、5年毎の定期点検が義務化される。 ・平成29年度に定期点検を実施し、平成30年度はこの結果に基づき、全98橋の橋梁長寿命化修繕計画の更新を行うとともに、計画的に修繕設計や修繕工事等を実施した。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	30,500	93,329	92,568
決算額	事業費	62,944	64,690	-
	特定財源等	33,816	32,904	-

「主な内訳(令和4年度決算)」

【事業費】
修繕設計委託料
14,779千円
長寿命化計画策定(点検)委託料
12,763千円
修繕工事請負費
37,148千円
【特定財源】
道路局所管補助金
32,904千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	橋梁長寿命化事業の実施	単位	式	
指標の説明	橋梁に係る修繕設計、補修工事の施工等維持管理事業			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		1	1	1
実績		1	1	-

「事業の参考数値等」

	修繕設計	修繕工事
H25年度	0橋	2橋
H26年度	2橋	2橋
H27年度	6橋	4橋
H28年度	6橋	7橋
H29年度	9橋	7橋
H30年度	15橋	9橋
R01年度	19橋	13橋
R02年度	23橋	18橋
R03年度	29橋	21橋
R04年度	32橋	22橋
R05年度(予定)	32橋	25橋

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	補修工事が完了した橋梁数	単位	件	
指標の説明	補修工事が完了した橋梁数(累計) ※全98橋			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		21	22	25
実績		21	22	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>道路は市民生活をさせる最も基本的な社会基盤であり、経済の発展や産業の育成に深く関わり、膨大な交通需要に対応するとともに、災害時におけるライフラインとして重要な役割を担っています。中でも橋梁は、道路法の改正により定期的な点検が義務化され、維持管理の強化が図られているところであり、当市の橋梁は高度経済成長期時に架設されたものが多数を占めることから老朽化対策が求められています。</p> <p>課題:維持管理費の増大が懸念され、予算の確保が厳しい状況にあります。</p>	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
今後:安全で安心な道路インフラを実現するため、計画的かつ継続的に維持管理を行う必要があります。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 132-01-02

事務事業名		恵我之荘市営駐輪場管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化		項	1	総務管理費
					目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	通勤・通学など日常的な自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	街の美観と良好な生活環境を維持するため、自転車等の利用者が安全かつ快適に駐輪できるスペースを確保し、放置自転車等の発生を防ぐことを目的とする。					
	手段 (事業内容)	シルバー人材センターに自転車置場の管理運営を委託している。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	7,162	6,406	6,420
決算額	事業費	6,971	5,886	-
	特定財源等	1,507	1,801	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

【事業費】	シルバー人材センター委託料	5,131千円
	財産区財産使用料	755千円
【特定財源】	恵我之荘自転車置場使用料	1,801千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	営業日数	単位	日	
指標の説明	1年間で駐輪場を営業した日数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		269	272	270
実績		274	270	-

≪事業の参考数値等≫

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	自転車等の利用件数	単位	台	
指標の説明	自転車置場定期申込み及び一時預かり(日数換算)台数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		2,500	2,000	2,000
実績		1,101	1,202	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	<b>改善して継続</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
事業を開始して以降、周辺での民間駐輪場の新設等により、利用者数は減少傾向にありますが、放置自転車の防止効果等により、駅周辺での道路交通環境、生活環境の悪化の抑制を図るため、継続して事業を行う必要があります。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
利用者数は減少傾向にあり、駐輪場利用者の増加を図るため、宣伝活動を展開する必要があります。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 133-01-03

事務事業名		交通安全啓発活動事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	1	総務管理費
					目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象(誰を・何を)	市民					
	目的(どうしたいか)	市民の交通安全に対する意識と交通マナーの向上を図る。					
	手段(事業内容)	藤井寺市、羽曳野警察署、羽曳野・藤井寺交通安全協会、関係団体等と協働し春・秋の全国交通安全運動期間等において、「交通安全市民大会」、「交通安全運転講習会」、「交通安全街頭キャンペーン」、「めいわく駐車対策キャンペーン」などの啓発イベントを実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	378	241	261
決算額	事業費	250	230	-
	特定財源等	0	0	-

《主な内訳(令和4年度決算)》

【事業費】
羽曳野・藤井寺安全協会補助金 200千円
羽曳野・藤井寺市駐車問題協議会補助金 30千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	交通安全啓発事業の開催件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野警察署管内における交通安全市民大会(表彰式)・講習会・キャンペーン等の開催件数(市参加)【期間:1/1~12/31】※			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		15	14	11
実績		0	2	-

《事業の参考数値等》

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止
--------------------------------

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	交通事故発生件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野市内における交通事故(死亡事故・重傷事故・軽傷事故)発生件数【期間:1/1~12/31】			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		0	0	0
実績		277	280	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本市は、「交通安全宣言都市」として、積極的に交通安全に取り組み、交通事故の無い明るい社会を実現するため、警察、交通安全協会、関係団体等と協働し、交通安全啓発活動を進めていく必要があります。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
「交通安全宣言都市」として、現在実施している啓発イベント以外にも交通安全啓発活動を行う必要があります。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 133-01-04

事務事業名		放置自転車対策事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	1	総務管理費
					目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	駅周辺道路等における自転車等の駐車秩序を確立することにより、自転車等の放置による生活環境の悪化を防止し、災害時の緊急避難路や歩行者の安全の確保及び通行機能の保持を図ることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	・市条例に基づき市内5駅の周辺において『自転車等放置禁止区域』を設け、放置されている自転車等の撤去、保管や、放置者に対する街頭指導を行う。 ・保管した自転車等について、利用者又は所有者に返還を行う。 ・自転車等放置禁止区域の周知を目的とした路面標示材の整備及び補修を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	15,836	13,916	14,305
決算額	事業費	13,529	13,312	-
	特定財源等	272	310	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

<b>【事業費】</b> シルバー人材センター委託料 (放置自転車撤去業務) 7,796千円 シルバー人材センター委託料 (街頭指導業務) 5,459千円  <b>【特定財源】</b> 植生撤去自転車置場使用料 215千円 放置自転車撤去手数料 95千円
---

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	撤去台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の総台数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		150	400	400
実績		283	318	-

≪事業の参考数値等≫

自転車等の返還率 平成28年度 221/524 42.2% 平成29年度 262/479 54.7% 平成30年度 255/400 63.8% 令和01年度 151/320 47.2% 令和02年度 70/190 36.8% 令和03年度 173/283 61.1% 令和04年度 190/318 59.7%
---

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	返還台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の返還台数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		100	250	250
実績		173	190	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	<b>現状維持</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
事業開始当初と比べ放置自転車の台数は大幅に減少しているが、近年では横ばいの状態であり、一定数の放置自転車等が存在する状況にある。自転車等利用者への街頭指導とあわせて、「交通ルールの徹底」や「交通マナーの向上」の啓発活動の推進が必要であります。	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症の緩和により、外出等する機会が増え、撤去台数が増加傾向にあり、自転車等による通勤・通学の需要は高まっており、引き続き、実施を行う必要があります。	

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 141-03-01

事務事業名		アドプトロード推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2431	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項	2	道路橋梁費
					目	2	道路舗装改良事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	地元小学校・中学校、高鷲駅前を育む会					
	目的 (どうしたいか)	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線「高鷲駅」周辺を行政・地域住民を含めた多様な関係者が協働して「美しく魅力あふれる駅前の空間づくり」を行なうとともに、この活動を通じて、地域の和を育み、心豊かな人づくり・笑顔と活気あふれるまちの創造を目指す。					
	手段 (事業内容)	小・中学校に土と花苗を支給し、学校内で育て、育苗後の花を学校緑化及び高鷲駅前に高鷲駅前を育む会とともに定植し、緑化推進を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
当初予算額	事業費	480	454	514	【事業費】 花苗 238千円 土・肥料・石灰等 187千円	
決算額	事業費	450	446	-	【特定財源】	
	特定財源等	0	0	-		

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)				
指標名	地元町会及び小・中学生の参加人数	単位	人	
指標の説明				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		200	200	200
実績		200	200	-

成果指標 (事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)				
指標名	高鷲駅前周辺のプランター及び花壇への花苗の定植数	単位	株	
指標の説明				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		3,000	3,000	3,000
実績		3,000	3,000	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	<b>現状維持</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
平成19年度事業開始から令和5年度で17回目を迎え、年2回、夏と冬の定植を実施。夏は羽曳野市、冬は大阪府で実施してきたが、令和2年度から大阪府が予算削減のため、羽曳野市単独予算となっています。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
羽曳野市・大阪府が主体となって事業を行うのではなく、高鷲駅前を育む会及び地域住民を含めた多様な関係者で事業運営を行っている必要があります。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 142-01-01

事務事業名		公園管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2231	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公園利用者					
	目的 (どうしたいか)	市民が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。					
	手段 (事業内容)	・公園、緑地の定期安全点検 ・日常清掃、公衆トイレ等の管理委託 ・老朽化による施設や遊具の修繕補修 ・公園、緑地内の植栽の剪定や灌水、芝生の刈り込み ・病害虫の駆除等の管理作業 ・公園駐車場の運営					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	51,604	54,835	53,544
決算額	事業費	49,388	52,684	-
	特定財源等	0	0	-

《主な内訳(令和4年度決算)》

【事業費】
シルバー委託料:11,240千円
修繕費:12,276千円
害虫駆除手数料:7千円
樹木処分費:3,216千円
植栽管理工事費:25,571千円
原材料費:282千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		100	100	100
実績		83	89	-

《事業の参考数値等》

害虫駆除件数:3件
樹木処分件数:38件
原材料購入件数:15件

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	件	
指標の説明	公園を安全安心に利用してもらうことにつながる。			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		100	100	100
実績		83	89	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>今後、公園施設の経年による老朽化により増加が予想される維持管理経費については危機を持っているところであるが、市民との協働や職員による修繕対応範囲の拡大等によるコストの抑制など、より一層の効率性を追求するとともに、高齢者や障害者等の社会的弱者に対応できるようなバリアフリー化や遊具・施設の点検、修繕箇所の迅速な対応強化など、利用者の利便性、安全面の確保に努める。なお、身近な公園については、地域ニーズを充分に反映した市民参画による管理運営を検討する。</p>	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 143-01-02

事務事業名		スケートボード広場整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2236	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	3	特色と親しみのある公園づくりの推進		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	スケートボード広場利用者					
	目的 (どうしたいか)	2021年に開催された東京オリンピックにおいて追加種目に採用されたこともあり、愛好者を中心に近年スケートパーク整備に対する要望が急増しており、新たなニーズに応えるため整備したい。					
	手段 (事業内容)	スケートボードは騒音の出るスポーツですので、住宅街から離れた場所が適しています。一方で、利用者は青少年が多数を占めることから、住宅街からアクセスが良いことも必要ですが、市所有地ではこれらの条件に合う箇所がなく、候補地を検討した結果、南阪奈高架下を占用し、スケボーパークを整備するものです。なお、本格的な施設ではなく、簡易な仕様で整備を進めるものです。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 実績なし  【特定財源】 実績なし	
当初予算額	事業費	-	-	40,216		
決算額	事業費	-	-	-		
	特定財源等	-	-	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	工事施工管理業務	単位	式	
指標の説明	適正に工事が実施されるよう施工管理を行う			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		-	-	1
実績		-	-	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	工事完了件数	単位	件	
指標の説明	整備工事が完了した件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		-	-	1
実績		-	-	-

≪事業の参考数値等≫  
令和4年度までに整備実績なし

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
			B
			A
			B

総合評価	完了
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
スケートボードは騒音の出るスポーツで、住宅街から離れた場所が適していますが、利用者は青少年が多数を占めることから、住宅街からアクセスが良いことも必要です。よって、条件に合致する箇所を整備を進めることが求められ、現在整備中のスケボーパークはびぎのの利用状況も注視して今後の整備計画を検討するべきと考える。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
苦情等が発生しないよう、整備箇所の選定を慎重に検討し、利用状況やニーズの再確認をして取り組んでいく。